

食生態学や関連する分野の研究・実践の成果等を踏まえ、適切な情報の発信者となる仲間を増やしたいと2006年より「食生態食育プロモーターズ」の養成に取り組んできました。昨年度よりその活動の活性化を図りたいと認定規定を見直すとともに、「食生態食育プロモーターズ」養成の視点で2022年度に実施予定の研修会を下記表のとおり整理しました。今後、毎年総会時に当該年度に習得できる単位等を提示いたしますので、ぜひ、計画的に単位を修得くださるようお願いいたします。

2022年度「食生態食育プロモーターズ」研修計画

NPO法人食生態学実践フォーラム 2022.5.10

認定コース及び認定要件					食生態食育プロモーターズ「食育教材」								取得単位有効期限(年)
					「3・1・2弁当箱法」				「さかな食育」				
コース	活動内容	参加資格	認定資格	履修単位		研修会名	実施日	取得単位		研修会名	実施日	取得単位	
				基本編	実践編			基本編	実践編			基本編	実践編
A	1)地域レベル、政策論、食環境づくりも含めた食育に関する計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる 2)B・Cコースの人材を養成することができる	Bコースを履修した正会員及び正会員予定者を含む	正会員	8	4	総会研修会	7月17日	2		総会研修会	7月17日	2	
						第69回日本栄養改善学会、当フォーラムの研究自由集会	9月16日	2		第69回日本栄養改善学会、当フォーラムの研究自由集会	9月16日	2	
						「3・1・2弁当箱法」Aコース研修会	7～12月	2	2				
						食からの自立を支える食育セミナー(スタッフとして参加)	年度内1回以上実施(地域コア活動)		2～	「さかな丸ごと食育」レベルアップ研修会(スタッフとして参加)	東京および仙台コアで各1回実施		2
B	個人や集団の食のニーズに対応する食育に関する計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる	Cコースを履修した正会員・賛助会員及びこれらの予定者を含む	正会員 賛助会員	6	2	総会研修会	7月17日	2		総会研修会	7月17日	2	
						第69回日本栄養改善学会、当フォーラムの研究自由集会	9月16日	2		第69回日本栄養改善学会、当フォーラムの研究自由集会	9月16日	2	
										さかな丸ごと食育」レベルアップ研修会	東京および仙台コアで各1回実施	2	
						「3・1・2弁当箱法」Bコース研修会(実習又は演習を含むと共に養成講座で課する課題を提出(個別指導を含む)する)	年度内1回	4	2	NPOが受託している「さかな丸ごと食育」の学習会(「さかな丸ごと食育」サポーター学習会)を企画・実施・評価する	(養成講師としてサポーター学習会を各自が企画し実施・評価する)	2	1
C	自分や、身近な人の食のニーズに対応する食育に関する計画・実施・評価ができる	正会員・賛助会員・学生会員・未会員	正会員 賛助会員	4	1	総会研修会	7月17日	2		総会研修会	7月17日	2	
						第69回日本栄養改善学会、当フォーラムの研究自由集会	9月16日	2		第69回日本栄養改善学会、当フォーラムの研究自由集会	9月16日	2	
						「3・1・2弁当箱法」Cコース研修会(演習・実習を含む)	年度内1回	4	1	「さかな丸ごと食育」養成講師養成研修会(学習計画の提出を含む)	希望者の要請に応じて実施(年度内3回は実施)	4	1

付記：

- 上記表は、当フォーラムの定款にある事業に基づくものである。
- 当フォーラムが開催する研修会に示された該当参加資格を満たした場合、認定資格に応じ取得単位が認められる。
- B、Cコースに設けられた「3・1・2弁当箱法」Bコース研修会、Cコース研修会は、当該コース認定のための必修である。
- 「総会研修会」と「第69回日本栄養改善学会当フォーラムの研究自由集会」は、「食生態学や食育」に関する研修会のため、できる限り参加すること。
- 取得単位は食育教材ごとに積み上げていくもので、認定された履修単位は重複できない。
- 認定のための申請料は、無料。
- 認定は、食生態食育プロモーターズ認定委員会にて審査をおこなう。